



きょうの
紙面

外環県区間など了承
関東地整事業評価監視委
2

小学校リノベーション調査
国際航業に委託/東庄町
2

上山地区管渠布設工事
(その12)/船橋市
7

大堀川右岸第7号-2
雨水幹線工事/柏市
7

森の
園

「心のレガシー」みんなで 検見川浜防潮堤



磯辺中学生徒が壁画制作 県塗装工業会がサポート

「検見川浜防潮堤」での中学生による壁画制作が5日、千葉市美浜区の稲毛ヨットハーバー周辺で行われ、近隣にある千葉市立磯辺中学校(鈴木雄一校長)から、美術部員とヨット部員、演劇部員(有志)の生徒42人、教諭5人が参加。社会貢献事業の一環として、(一社)千葉県塗装工業会(中島康浩会長)が04年度から実施する環境美化ボランティア活動で、今回で14回目。こ



中島会長



鈴木校長



堀越次長

の日は賛助会員らを含めて29社が参加した。県千葉港湾事務所や千葉県魅力ある建設事業推進協議会(CCC Iちば)らが協力。検見川浜防潮堤の壁画制作の補助は、第12回から3年連続で3回目となる。(3面に磯辺中学校生徒の「作品」と参加企業など)

生徒たちの作業を全面的にバックアップする(一社)千葉県塗装工業会の中島会長は、3回目となる防潮堤の壁画制作の目的について「落書き防止のため」というのは、生徒のみならず最

地域をきれいに 心を大切に

初から分かつていると思う」と前置き。「最近、テレビなどで『レガシー』(遺産)という言葉をよく耳にする」と述べたうえで「みなさんが描いた壁画が遺産として残るように、我々もこれを保護し、それがどんどん繋がって素晴らしい防潮堤になればいいと思う」と弁。さらに「何よりも私たちが願っているのは、みなさんが落書きを防止するために壁画を描くという地域をきれいにしようという心」である」と強調。「みなさんの心が千葉市全体、千葉県全体、日本全体に伝わり、世界に広がればいい。その気持ちは継承し、受け継がれていくものであり、それが一番大切な心のレガシー」だと信じている」と述べた。

防犯壁壁画制作が学校の歴史の一つ

壁画制作に先立ち、磯辺中学校の鈴木校長は、同校が統合による新設校として4年目を迎えたことについて「新しい学校ではあるが、生徒のみならず先輩たちがこれまで頑張り、学校の歴史や伝統が出来つつあると思う」と紹介。3回目を数える防潮堤の壁画制作については「その歴史や伝統のついでに加わる事業だ」と思う」との認識を示すとともに「こういった貴重な機会を与えて頂いた県及び塗装工業会のみならずには、大変感謝している。良い一日、良い作品が出来るように、みんなで頑張りましょう」と思う。頑張りましょう」と生徒たちの士気を鼓舞した。

防犯上も効果絶大
設置目的にも思慮

海岸を管理する県千葉港湾事務所からは、堀越宏喜次長が3年目を迎えた壁画制作について「打ち放しのコンクリートの雰囲気が大変華やかになり、落書き等防犯上においても大変効果を感じている」と高く評価。加えて「防潮堤というものを設置する本来の意味なども考えて、安全に気をつけながら良い作品に仕上げたい」とエールを送った。

作品保護、海岸清掃 カフェの内壁絵画

今回制作した防潮堤壁画の規模は、高さ1.4m×幅48m。塗装工業会の実行委員は、事前準備として前

日までに、壁面の洗浄及び下処理(シーラー下塗り)作業を実施。塗料もテーマごとにトータル30色以上を用意。生徒たちのイメージ通りの色を追求し、現場では細かい配色作業を繰り返した。また、制作現場では、過去2年間で描いた防潮堤壁画に対して、保護のためのクリアー塗料を塗り直す作業とともに、手が空いた参加者は、ごみ袋を片手に海岸清掃も行った。

さらに、この日はNPO法人カフェ・バルコニーの家(敷下敦子代表)からの依頼を受け、海岸から約50mのマリーナ通りにあり、今月下旬のオープンを目指す「コミュニティまいる」すくらっせの内壁の絵を、同じく磯辺中の生徒らが描き上げた。